

# はじめに

## 「福田のいまむかし」の出版に際して

福田歴史文化保存会 中村 正治

近年、地域開発がますます進む中、自動車道開通等により、広島近郊の住宅地が増え人口も増加しました。その一方で、我われの日々の生活も多忙になり、好むと好まざるとに関わらず、後戻りできないうねりのコンベアに乗っています。

ふと目の前に、朝夕、毎日仰ぎ見ている母なる「木ノ宗山」を再確認するとともに、先人達が長年築きあげた愛する郷土「福田」の歴史を顧みることができたことに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいあります。

本書発刊の目的は、自然・生活・歴史・文化等について、皆様や地域が活発に交流するための一助になればと思い、

一、既存の発刊書の再編集と本原本データをCDとして保存する。(既存発刊書は大半が絶版)

二、CDを身近に貸し出しができるようにする。

三、新たな文献情報を基に資料の追加作業を行う。

四、時間とともに廃れていく「昔の歩み」や「言い伝え」を年配者に再確認する。

これら「郷土史の灯を消さない作業」にあたって、福田公民館、歴史文化保存会、公民館のパソコンサークル、地域の古老の皆様、ほかに沢山のご協力のもと、ここに発刊できたことに改めてお礼申し上げます。

最後に、山と山との谷あい、先人達の生活の営みは派手さはなく、大きな政もなく、質素で誠実にコツコツと築きあげた、この愛する歴史ある人情味あふれた「福田」を我々は次の世代にバトンタッチしていくことが大きな役目であり、若人も必ず受け継いでくれる事を信じ願っております。